

# 2022（令和4）年度事業報告

## 第1 総括的事項

2022年度については、コロナ禍を契機とした社会環境変化等に自律的に対応できる現場力を高めながら、事業計画の確実な実行に努めた結果、事業収益は2,345,910千円と、事業計画を4.3%上回った。各事業の展開は次のとおりである。

公益目的事業として実施した保健事業（公1）については、コロナ禍からの社会経済活動の回復が進み、新型コロナウイルス関連事業が縮小する中、主力の健診事業の回復に注力し、事業収益が1,701,751千円と、事業計画を4.7%上回った。

当該事業のうち、健康の保持増進等に係る普及啓発業務については、行政や関係団体との連携・協力の下、がんをはじめとする生活習慣病等の疾病の予防や、健康の保持増進に関する普及啓発を図り、県民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献した。また、健康診断業務については、長期化するコロナ禍において、健診実施機関として適切な感染症対策を行い、安心安全な受診環境を確保し、業務継続・受診率回復を図りながら、業績の維持向上に努めた。さらに、前年度に引き続き、県、県医師会等と連携しながら、新型コロナワクチン接種をはじめとする新型コロナウイルス対策に貢献した。

温暖化防止事業（公2）については、脱炭素社会の実現に向けた社会的機運が高まる中、事業が拡大し、事業収益が19,904千円と、事業計画を47.4%上回った。

当該事業は、県より指定を受けた山口県地球温暖化防止活動推進センターとして、国や県等の民間団体向け補助・委託事業を積極的に受託し、啓発・広報活動を通じて地域における温室効果ガス排出削減等の取組の促進に努めた。また、関連法の改正に伴い新たな役割として位置づけられた事業者に対する脱炭素化に向けた取組の啓発・広報活動を積極的に推進した。

収益事業として実施した環境事業（収）については、複眼的な視点による販路拡大に取り組み、好調を維持し、事業収益が624,254千円と、事業計画を2.3%上回った。

当該事業のうち、環境保全業務及び飲用水検査業務については、依然として厳しい受注環境が続くものの、県内外を問わずに新たな市場の開拓を図り、業績の維持向上に努めた。また、全国を市場として展開する食品検査業務については、DX化等を通じて商品・サービスの高付加価値化を図り、顧客基盤の拡大に努めた。さらに、作業環境測定業務において、関連法の改正に伴い金属アーク溶接等作業に係る健康障害防止措置が義務化されたことから、新たな業務として「マスクフィットテスト」を立ち上げ、事業の拡充を図った。

## 業務実施報告

(単位：千円)

	計 画 (A)	実 績 (B)	前年度実績 (C)	B/A (%)
保 健 事 業 ( 公 1 )	1,625,591	1,701,751	2,240,029	104.7
温 暖 化 防 止 事 業 ( 公 2 )	13,504	19,904	13,238	147.4
環 境 事 業 ( 収 )	610,400	624,255	628,180	102.3
合 計	2,249,495	2,345,910	2,881,447	104.3

## 第2 保健事業

公益目的事業(公1)として実施した保健事業の事業収入は、事業計画に対して4.7%、76,160千円上回り、前年度実績と比較して24.0%、538,278千円の減収となった。

健診事業については、事業所健診においては、コロナ禍から順調に回復し前年度実績を上回ったものの、事業計画に対しては若干下回る事となった。他方、住民健診においては、受託する市町が減少したことにより前年度実績を下回ったものの、事業計画を上回る結果となった。

また、新型コロナウイルス関連業務では、PCR検査等検体検査業務及びワクチン接種業務ともに上半期での受注が想定以上となり、その事業収入は、前年度実績を大きく下回ったものの、事業計画に対しては大きく上回る結果となった。

なお、今後は、アフターコロナに向けて、既存顧客の囲い込みの他、ウクライナ情勢の影響等に伴う物価高騰による値上げ交渉に注力し、主力の健診事業の収益確保に努めることとする。

### 1 公益目的事業の推進

- (1) がん検診をはじめとする健康診断の受診率向上の一助を目的に、健康診断データ等を集計した事業年報を作成し、ホームページに公開した。
- (2) 本県におけるがん検診の質の向上や、がん検診の評価等を目的とした「がん検診診断症例調査」を行った。
- (3) がんの予防や早期発見に関する知識や技術の普及を目的に、県及び市町の健診担当者を対象とした「山口県生活習慣病健診等従事者講習会」を2月に開催した。
- (4) 結核予防思想の普及を目的として公益財団法人結核予防会が行っている「複十字シール運動」の募金活動に取り組むとともに、全国一斉複十字シール運動キャンペーンを実施し、結核予防思想の普及を図った。複十字シール募金については、9,649件、総額2,128千円の募金を確保することができた。
- (5) がん検診の受診率の向上を目指す目的で、「ピンクリボン in やまぐち」や「子宮頸がん in やまぐち」等の啓発イベントに積極的に参加した。また、リレー・フォー・ライフ・やまぐち実行委員会事務局として、年間を通じた活動に協力した。
- (6) がんをはじめとした生活習慣病等の疾病の予防と健康の保持増進に向けた普及啓発活動等を実施する県内団体に対して、活動経費の一部を助成した。

### 2 健康診断の実施

#### (1) 事業所健診

保健部の事業収入の8割以上を占める事業所健診の事業収入は、事業計画に対して1.4%、17,061千円下回り、前年度実績と比較して3.0%、34,477千円の増収となった。このうち、定期健診では、大手事業所は、新規顧客の獲得が順調に進んだものの、既存顧客の中小企業は、他機関の参入等により協会けんぽ健診等の受注維持に苦戦した。特殊健診診断及び定期オプション検査については、前年度実績及び事業計画に対しても上回る事となった。

## (2) 住民健診

住民健診の事業収入は、事業計画に対して12.1%、12,545千円上回り、前年度実績と比較して5.0%、6,138千円の減収となった。これは、新型コロナウイルスの影響による落ち込みからの受診の回復が進む一方、受託競争に苦戦し一部の市町の受託がなくなったことが主な要因である。

## (3) 施設健診

感染症法に基づき、老人福祉施設等の入所者等を対象とした結核検診は、事業計画に対して、6.6%、820千円下回り、前年度実績と比較して4.9%、590千円の減収となった。これは、既存顧客のうち、自病院や協力病院等の医療機関での受診に移行した施設が幾つかあったことが要因である。

## (4) 学校健診

学校保健法に基づく結核・心電図検診等については、事業計画に対して、17.3%、4,360千円下回り、前年度実績と比較して、17.3%、4,364千円の減収となった。これは、前年度受注していた県立高校生徒の胸部検診を受注できなかったことが主な要因である。

## (5) 検査受託

新生児の代謝異常検査及び、その他の検査受託数の減少により、事業計画に対して、4.1%、845千円下回り、前年度実績と比較して、2.9%、591千円の減収となった。

## (6) 新型コロナウイルス関連

新型コロナウイルス関連については、行政、個人、事業所を対象にPCR検査、抗原定量検査の検体検査の実施を、また、山口県や市町からの受託によりワクチン接種業務を実施し、事業計画に対して、49.7%、103,565千円上回り、前年度実績と比較して、64.0%、554,213千円の減収となった。これは、第7波等によりワクチン接種業務において、特に上半期に集中して想定を大きく上回る受注があったことが要因である。

## 3 その他

### (1) 主な設備投資

老朽化に伴い、胃胸部デジタル検診車1台、子宮がん検診車1台、心電計1台、眼底計1台、自動血球分析装置1台を更新した。

### (2) 精度管理

日本医師会、全国労働衛生団体連合会及び結核予防会などが実施するエックス線写真の審査会や臨床検査についての精度管理事業に参加し、良好な成績を収めることができた。

また、可能な限りオンラインでの各種研修会に参加し、事務、渉外、技術面での研鑽を積んだ。

2022年度 保健部業務実施報告(件数)

(単位:件)

項目	計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	%B)/(A)	%B)/(C)	
事業所	定期健康診断(省略項目)	19,958	26,409	23,152	132.3 %	114.1 %
	定期健康診断(全項目)	78,819	95,482	84,567	121.1 %	112.9 %
	定期健康診断(その他)	104,573	119,813	103,480	114.6 %	115.8 %
	再委託健康診断	8,310	2,621	2,984	31.5 %	87.8 %
	健康診断(3部局)	153,739	128,307	128,902	83.5 %	99.5 %
	特殊健康診断	50,962	69,978	61,952	137.3 %	113.0 %
	定期オプション検査	26,259	27,666	27,903	105.4 %	99.2 %
	肺がん検診	2,466	2,044	1,802	82.9 %	113.4 %
	胃がん検診	8,916	7,496	8,310	84.1 %	90.2 %
	乳がん検診	2,930	2,719	2,820	92.8 %	96.4 %
	子宮がん検診	1,973	1,984	1,966	100.6 %	100.9 %
	大腸がん検診	16,276	16,165	15,889	99.3 %	101.7 %
	腹部超音波検査	4,489	4,180	4,337	93.1 %	96.4 %
	協会けんぽ健診	17,109	15,955	16,196	93.3 %	98.5 %
	労災2次健診	318	419	501	131.8 %	83.6 %
	特定健康診査	23,176	25,647	23,905	110.7 %	107.3 %
	ストレスチェック	21,910	22,352	22,861	102.0 %	97.8 %
	その他	12,960	10,570	13,116	81.6 %	80.6 %
住民	結核・肺がん検診	22,134	20,788	22,366	93.9 %	92.9 %
	胃がん検診	2,113	2,233	2,444	105.7 %	91.4 %
	乳がん検診	2,707	2,575	2,855	95.1 %	90.2 %
	子宮がん検診	2,576	2,681	3,039	104.1 %	88.2 %
	大腸がん検診	8,227	6,974	6,989	84.8 %	99.8 %
	特定健康診査	7,012	8,945	7,569	127.6 %	118.2 %
	後期高齢者健診	712	726	628	102.0 %	115.6 %
	その他	1,358	1,525	1,440	112.3 %	105.9 %
施設合計	4,853	4,407	4,826	90.8 %	91.3 %	
学校合計	21,330	15,280	21,327	71.6 %	71.6 %	
検査受託合計	18,140	17,604	18,135	97.0 %	97.1 %	
新型コロナウイルス関連計	58,920	93,320	281,257	158.4 %	33.2 %	
その他合計	25,236	26,496	27,264	105.0 %	97.2 %	

## 2022年度 保健部業務実施報告(金額)

(単位:千円)

項目		計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	%(B)/(A)	%(B)/(C)
事業所	定期健康診断(省略項目)	25,483	38,097	38,791	149.5%	98.2%
	定期健康診断(全項目)	352,122	320,785	332,460	91.1%	96.5%
	定期健康診断(その他)	118,421	122,392	93,452	103.4%	131.0%
	再委託健康診断	21,843	12,723	6,179	58.2%	205.9%
	健康診断(3部局)	168,839	145,099	147,275	85.9%	98.5%
	特殊健康診断	127,645	159,884	137,808	125.3%	116.0%
	定期オプション検査	58,460	65,779	61,615	112.5%	106.8%
	肺がん検診	1,792	1,625	1,412	90.7%	115.1%
	胃がん検診	54,263	50,558	52,676	93.2%	96.0%
	乳がん検診	10,367	9,920	9,964	95.7%	99.6%
	子宮がん検診	7,159	7,918	7,459	110.6%	106.2%
	大腸がん検診	15,920	16,929	15,828	106.3%	107.0%
	腹部超音波検査	10,844	11,511	11,844	106.2%	97.2%
	協会けんぽ健診	118,451	106,189	110,360	89.6%	96.2%
	労災2次健診	8,362	5,158	13,114	61.7%	39.3%
	特定健康診査	56,807	57,905	59,695	101.9%	97.0%
	ストレスチェック	8,579	8,671	8,950	101.1%	96.9%
	その他	32,356	39,509	37,293	122.1%	105.9%
	事業所計	1,197,713	1,180,652	1,146,175	98.6%	103.0%
住民	結核・肺がん検診	24,212	29,251	31,954	120.8%	91.5%
	胃がん検診	13,401	16,456	18,104	122.8%	90.9%
	乳がん検診	12,573	10,797	12,150	85.9%	88.9%
	子宮がん検診	13,243	13,211	15,145	99.8%	87.2%
	大腸がん検診	10,637	8,704	8,785	81.8%	99.1%
	特定健康診査	15,639	19,331	16,369	123.6%	118.1%
	後期高齢者健診	2,369	2,730	2,363	115.2%	115.5%
	その他	11,905	16,044	17,792	134.8%	90.2%
住民計	103,979	116,524	122,662	112.1%	95.0%	
施設計	12,370	11,550	12,140	93.4%	95.1%	
学校計	25,260	20,900	25,264	82.7%	82.7%	
検査受託計	20,424	19,579	20,170	95.9%	97.1%	
新型コロナウイルス関連計	208,329	311,894	866,107	149.7%	36.0%	
その他計	57,516	40,652	47,511	70.7%	85.6%	
合計	1,625,591	1,701,751	2,240,029	104.7%	76.0%	

### 第3 温暖化防止事業

公益目的事業（公2）として実施した温暖化防止事業の事業収入は、「緩和策」の一層の強化等に伴う県関連事業の規模拡大により、事業計画に対して47.4%、6,400千円上回った。

2050年カーボンニュートラル及び2030年度削減目標の実現に向けた取組が加速し、大幅な温室効果ガス排出量の削減が求められる中、地球温暖化対策に関する取組の一層の推進を図るため、従来の各種イベントや出前講座等の啓発・広報活動に加え、若者や子育て世代、さらに地球温暖化対策推進法の改正に伴い新たな役割として位置づけられた温室効果ガス排出量の削減等のための措置に係る事業者向けの啓発・広報活動に注力した。

#### 1 啓発・広報活動

長引くコロナ禍の影響も少しずつ落ち着き、地域で開催される各種イベント等も前年度と比べて増加傾向になったことから、WEB等による非対面型の活動に加え、従前どおりの地域の普及啓発のリーダーである地球温暖化防止活動推進員（以下、「推進員」という）との連携・協力のもとで行う対面型の活動等の回復に努め、地域における啓発・広報活動の拡充を図った。

このうち、子育て世代に対しては住宅展示場にて親子で参加できるイベントを行い、ZEH住宅の普及に努めた。また、事業者に対してはセミナー等を通じて温室効果ガス排出量の削減等のための措置の普及に努めた。

#### 2 照会・相談及び助言

日常生活に関する温室効果ガス排出の抑制のための措置等について、県民等からの照会及び相談に応じ、必要な助言を行った。

#### 3 調査・分析及び情報発信

温室効果ガス排出量に関する統計データや「家庭におけるストップ温暖化診断」データ等を活用し、県内の一般家庭における温室効果ガス排出実態の把握・分析等を行うとともに、「環境意識に関する実態アンケート」や「エコカー買い替え実態アンケート」等のアンケート調査を行い、関係情報について広く県民等へ発信した。

#### 4 施策協力

「山口県地球温暖化対策実行計画」に基づく省・創・蓄エネ設備への補助等の施策について協力を行うとともに、脱炭素社会づくりに貢献する「製品への買換え」など、温暖化対策に資するあらゆる「賢い選択」をしていこうという政府を挙げての国民運動「COOL CHOICE」の普及啓発に努めた。

#### 5 その他

「気候変動適応中国四国広域協議会」をはじめ、県や市町等が設置する地球温暖化対策に係る協議会等へ外部委員として参画し、広く啓発・施策への反映を行った。

2022 年度温暖化防止事業実施報告（金額）

（単位：千円）

項目	2022 年度計画 A	2022 年度実績 B	2021 年度実績	% (B/A)
国関連事業	4,680	5,400	3,825	115.4%
県関連事業	8,304	14,504	9,413	174.7%
その他	520	0	0	0.0%
合計	13,504	19,904	13,238	147.4%

## 第4 環境事業

収益事業として実施した環境事業の事業収入は、事業計画に対して2.3%、13,855千円上回り、前年度実績と比較して0.6%、3,925千円の減収となった。

依然として食品検査業務が好調である一方、作業環境測定業務などの業務も伸展しており、環境事業としての収益は増加傾向にある。

今後は、さらに拡大・強固なものにするため、県内外への積極的な渉外活動を継続的に実施するとともに、顧客ニーズの多様化に伴う対応等を強化し、収益確保に努めることとする。

### 1. 環境保全業務

事業計画に対して11.3%、8,608千円上回り、前年度実績と比較して6.4%、5,138千円の増収となった。

異業種間連携等により業務の維持・拡大に努めるとともに、官公庁の入札においても順調に受注できた。

### 2. 作業環境測定業務

事業計画に対して14.7%、3,676千円上回り、前年度実績と比較して18.4%、6,464千円の減収となった。

特別需要であった溶接ヒュームに係る鉛の測定業務の減少により、前年度比で減収となった一方で、既存顧客の継続的受注に努め、官公庁の入札においても順調に受注することができたことにより、例年以上の業績を確保できた。

### 3. 飲用水検査業務

事業計画に対して2.0%、2,179千円上回り、前年度実績と比較して1.1%、1,174千円の増収となった。

異業種間連携等により業務の維持・拡大に努めるとともに、官公庁の入札において、大口案件を順調に受注できた。

### 4. 食品検査業務

事業計画に対してほぼ同額、前年度実績と比較して1.0%、3,982千円の減収となった。

動物用医薬品検査など市場動向の影響を受け減収となった項目がある一方で、主力業務である残留農薬検査などは収益を伸ばすことができた。

### 5. 簡易専用水道検査

簡易専用水道検査については、例年並みの収益となった。



## 6. その他

### (1) 主な設備投資

機器の老朽化及び業務の拡充等により、P&T-ガスクロマトグラフ質量分析計、ガスクロマトグラフ質量分析計、タンデム型ガスクロマトグラフ質量分析計、超臨界抽出装置、高速液体クロマトグラフ、デュマたんぱく質分析装置、ロータリーエバポレーター、超純水製造装置および、イオンクロマトグラフ分析計、ケルダール分解滴定装置を各1台更新した。

### (2) 品質管理

環境事業の根幹をなすQMS(ISO9001)、水道G L P及びISO/IEC17025については、それぞれ外部審査機関により定期審査又は更新審査を受け、重大な不適合も無く、引き続き高い評価を得ることができた。

### (3) 精度管理

環境事業の精度管理は、環境省、厚生労働省及び上部関係団体が主催する外部精度管理と、技能区分・対象検査者等を定めて実施する内部精度管理に大別され、年度初めに作成する実施計画書等に基づいて計画どおり実施した。いずれも適正な結果を得ることができ職員の技術水準の確保や検査精度の保持が図れた。

2022年度 環境部業務実施報告 (件数)

(単位:件数)

項目			計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	% (B)/(A)	% (B)/(C)	
環境保全	測定	ボイラー	60	50	66	83.3%	75.8%	
		その他	4	15	7	375.0%	214.3%	
		騒音・振動	4	20	12	500.0%	166.7%	
	分析	水質	環境水	570	640	689	112.3%	92.9%
			排水・産廃	1,100	1,167	1,226	106.1%	95.2%
			総量規制	610	640	724	104.9%	88.4%
			その他	830	1,421	1,354	171.2%	104.9%
		土壌	80	132	128	165.0%	103.1%	
	調査	環境評価	アセス	5	11	12	220.0%	91.7%
			調査	70	64	50	91.4%	128.0%
作業環境		粉じん	60	66	64	110.0%	103.1%	
		特化物	250	301	302	120.4%	99.7%	
		有機溶剤	360	615	636	170.8%	96.7%	
		金属	20	25	34	125.0%	73.5%	
		事業所	10	14	10	140.0%	140.0%	
		その他	60	287	168	478.3%	170.8%	
飲用水		水道事業	200	248	292	124.0%	84.9%	
		水質管理	520	787	826	151.3%	95.3%	
		専用水道	650	714	731	109.8%	97.7%	
		一般(全項目)	40	67	60	167.5%	111.7%	
		一般(一般項目)	2,450	3,371	3,893	137.6%	86.6%	
		一般(その他)	160	273	272	170.6%	100.4%	
食品		細菌検査	1,340	2,375	1,507	177.2%	157.6%	
		その他	1,670	1,994	1,589	119.4%	125.5%	
		残留農薬	5,180	7,057	6,840	136.2%	103.2%	
		動物医薬	1,300	1,168	1,564	89.8%	74.7%	
		重金属	380	360	357	94.7%	100.8%	
		器具容器包装	0	0	0	-	-	
		おもちゃ	0	0	0	-	-	
		放射能	300	345	348	115.0%	99.1%	
簡専水		栄養成分	3,710	3,774	3,906	101.7%	96.6%	
		現場検査	600	607	630	101.2%	96.3%	
		書類検査	140	126	130	90.0%	96.9%	

2022年度 環境部業務実施報告（金額）

（単位：千円）

項目		計画 (A)	実施 (B)	前年度実施 (C)	%B)/(A)	%B)/(C)		
環境保全	測定	ボイラー	3,270	2,616	3,452	80.0%	75.8%	
		その他	710	1,929	1,159	271.7%	166.4%	
			3,980	4,545	4,611	114.2%	98.6%	
		騒音・振動	350	314	214	89.8%	146.9%	
			4,330	4,859	4,825	112.2%	100.7%	
	分析	水質	環境水	11,730	12,665	11,512	108.0%	110.0%
			排水・産廃	17,200	18,159	16,672	105.6%	108.9%
			総量規制	5,100	5,214	6,149	102.2%	84.8%
			その他	10,640	12,095	11,125	113.7%	108.7%
				44,670	48,134	45,458	107.8%	105.9%
		土壌	2,370	4,260	2,899	179.8%	147.0%	
			47,040	52,394	48,357	111.4%	108.3%	
	調査	環境調査	アセスメント	2,000	5,263	8,304	263.2%	63.4%
			調査	22,930	22,392	18,284	97.7%	122.5%
				24,930	27,655	26,588	110.9%	104.0%
		76,300	84,908	79,770	111.3%	106.4%		
作業環境		粉じん	2,440	1,656	1,680	67.9%	98.6%	
		特化物	4,030	3,428	3,696	85.1%	92.8%	
		有機溶剤	16,160	16,619	17,447	102.8%	95.3%	
		金属	1,040	850	1,197	81.7%	71.0%	
		事業所	150	191	148	127.3%	129.1%	
		その他	1,180	5,931	10,972	502.7%	54.1%	
			25,000	28,676	35,140	114.7%	81.6%	
飲用水		水道事業	32,100	34,045	32,697	106.1%	104.1%	
		水質管理	17,748	21,305	21,182	107.0%	89.6%	
		専用水道	19,870	18,989	18,644	107.2%	114.3%	
		一般(全項目)	7,054	6,527	6,639	92.5%	98.3%	
		一般(一般項目)	23,567	21,945	22,518	93.1%	97.5%	
		一般(その他)	7,660	7,369	7,325	96.2%	100.6%	
			108,000	110,179	109,005	102.0%	101.1%	
食品		細菌検査	10,000	11,875	10,054	118.8%	118.1%	
		その他	24,800	26,944	20,259	108.6%	133.0%	
		残留農薬	181,200	198,351	189,754	109.5%	104.5%	
		動物医薬	77,000	65,791	75,944	85.4%	86.6%	
		重金属	5,700	4,527	4,921	79.4%	92.0%	
		器具容器包装	0	0	0	-	-	
		おもちゃ	0	0	0	-	-	
		放射能	1,700	2,094	1,716	123.2%	122.0%	
		栄養成分	90,000	80,393	91,309	89.3%	88.0%	
			390,400	389,975	393,957	99.9%	99.0%	
簡専水		現場検査	10,280	10,144	10,013	98.7%	101.3%	
		書類検査	420	372	295	88.6%	126.1%	
			10,700	10,516	10,308	98.3%	102.0%	
合計		610,400	624,255	628,180	102.3%	99.4%		

